


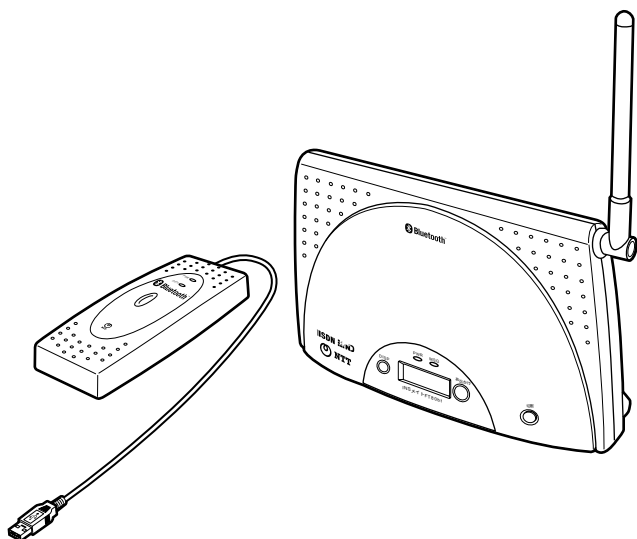

L.モード 対応

ナンバー・ディスプレイ 対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

INSメイトFT80bt ワイヤレスセット インターネット接続ガイド

このたびは、INSメイトFT80btワイヤレスセットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「インターネット接続ガイド」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

1 準備

2 XP
Windows

3 Me
Windows

4
Windows

5 2000
Windows

6 NT
Windows 4.0

7 Mac OS

8 参考

Bluetooth™は、その商標権者が権利を所有しており、当社へライセンスされています。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 98 Second Editionは、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Editionの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows NT® 4.0は、Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0の略です。

Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Netscape Navigatorは、米国およびその他の諸国のNetscape Communications Corporation社の登録商標です。

Hayesは米国Hayes Microcomputer Products, Inc.の登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品のCD-ROMは日本語版OS以外の動作保証はしていません。

付属品のCD-ROMはWindowsとMacintoshの両方にご利用いただけます。

付属品のCD-ROMはソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。

また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

目次

1	準備	
	インターネットへ接続するまでの手順	4
	必要なものを確認する	6
2	Windows® XP	
	接続の設定をする (Windows® XP)	7
	接続先の設定を行う	7
	TCP/IPの設定を行う	12
	インターネットに接続する (Windows® XP)	17
3	Windows® Me	
	接続の設定をする (Windows® Me)	19
	接続先の設定を行う	19
	TCP/IPの設定を行う	22
	インターネットに接続する (Windows® Me)	25
4	Windows® 98 / 98 Second Edition	
	接続の設定をする (Windows® 98 / 98 Second Edition)	28
	設定の流れ	28
	ダイヤルアップネットワークを確認する	28
	TCP/IPを確認する	30
	接続先の設定を行う	31
	TCP/IPの設定を行う	35
	ダイヤルアップネットワークをインストールする	38
	TCP/IPをインストールする	42
	インターネットに接続する (Windows® 98 / 98 Second Edition)	45
5	Windows® 2000	
	接続の設定をする (Windows® 2000)	48
	接続先の設定を行う	48
	TCP/IPの設定を行う	53
	インターネットに接続する (Windows® 2000)	56
6	Windows NT® 4.0	
	接続の設定をする (Windows NT® 4.0)	60
	インターネットに接続する (Windows NT® 4.0)	63
7	Mac OS	
	接続の設定をする (Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、 9、9.1、9.2)	65
	インターネットに接続する (Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、 8.6、9、9.1、9.2)	67
	接続の設定をする (Mac OS X)	69
	インターネットに接続する (Mac OS X)	72
8	ご参考	
	インターネットにうまく接続できないときのチェックポイント	74

インターネットへ接続するまでの手順

インターネット接続ガイドでは、ご使用のOSに付属しているソフトウェアで、インターネットに接続する手順について説明しています。

本商品を使ってインターネットへ接続するまでの手順は、次のようになります。



プロバイダ

プロバイダへ加入する

- インターネットサービスプロバイダ（プロバイダともいいます）は、インターネットへの接続業者です。インターネットに接続するには、プロバイダに加入する必要があります。
- プロバイダへ加入すると、ユーザID、パスワード、DNSサーバのIPアドレス、アクセスポイントの電話番号などの情報が通知されます。
- 料金やアクセスポイント、128 KマルチリンクPPP（MP）（←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）対応などを調べて、適したプロバイダを選択してください。詳細は、加入するプロバイダへお問い合わせください。



INSネット64

INSネット64回線に接続する

- 付属の電話機コードで、INSメイトFT80bt背面の「LINE」と、壁などにあるモジュラージャックをつなぎ、電源を入れます。（←接続早わかりガイド、取扱説明書←P33）



パソコン

パソコンとの接続方法を決める

- INSメイトFT80btのRS-232CポートまたはUSBポートに接続する方法、FT80btアダプタを利用してワイヤレスで接続する方法があります。
- USBポートまたはFT80btアダプタをご利用になる場合は、お使いのパソコンがUSBポートを備えているか、お使いの基本ソフト（OS）がUSBで使用可能かどうかをご確認ください。
- USBポートは、Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98、Windows® 98 Second Edition、Windows® 2000、Mac OS 8.6、9、9.1、9.2、Xでご利用になれます。
- FT80btアダプタは、Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 2000でご利用になれます。



CD-ROM

必要なソフトウェアをインストールする

- Windows® の場合（取扱説明書←P44）
- Mac OS（Mac OS Xを除く）の場合（取扱説明書←P55）
- Mac OS Xの場合（取扱説明書←P58）
- FT80btアダプタをご利用になる場合（取扱説明書←P74）

（右ページへ続きます）

(左ページの続きです)

インターネット接続ガイド



インターネットへ接続するための設定を行う

- インターネット接続に必要なソフトウェア (TCP/IPソフトウェア、PPPモジュール) がパソコンにインストールされているかどうかを確認します。必要なソフトウェアがない場合は、各ソフトウェアのCD-ROMなどからインストールします。
- プロバイダから通知された情報をもとに、インターネットへ接続するための設定を行います。
- インターネットへ接続するための設定の手順は、RS-232Cポートで接続する場合、USBポートで接続する場合、またFT80btアダプタを利用して接続する場合とも基本的に共通です。
 - Windows® XP (☛P7)
 - Windows® Me (☛P19)
 - Windows® 98、Windows® 98 Second Edition (☛P28)
 - Windows® 2000 (☛P48)
 - Windows NT® 4.0 (☛P60)
 - Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、9、9.1、9.2 (☛P65)
 - Mac OS X (☛P69)



インターネットへ接続する

- INSネット64回線を使ってインターネットへ接続します。
- インターネットのさまざまなサービスをご利用になるには、各サービス用のソフトウェアが必要です。別途ソフトウェアをご用意ください。

必要なものを確認する

ご使用のOSに付属しているソフトウェアを利用して、インターネットに接続するための設定を行う必要があります。接続の設定を行う前に、必要なものを確認しておきましょう。

TCP/IPソフトウェア

TCP/IPとは、インターネットで標準となっている通信プロトコルです。Windows[®]、Mac OSには、TCP/IPを利用するためのソフトウェアが組み込まれています。

ご利用になるインターネットサービスプロバイダに合わせて、設定する必要があります。

PPPモジュール

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルして、サーバに接続するためのソフトウェアです。Windows[®]、Mac OSには、サーバへダイヤルするためのソフトウェアが組み込まれています。

ご利用になるインターネットサービスプロバイダに合わせて、設定をする必要があります。

ブラウザ

ホームページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、WWWブラウザということもあります。代表的なブラウザとして、Internet Explorer、Netscape Navigator[®] があります。OSに付属しているソフトウェア以外の市販品、フリーウェアを利用することもできます。

電子メールソフト

インターネットで電子メールを送信、受信するためのソフトウェアです。代表的なメールソフトとして、Outlook Express、Eudoraなどがあります。OSに付属しているソフトウェア以外の市販品、フリーウェアを利用することもできます。

接続の設定をするには

インターネットへ接続するための設定の手順は、RS-232Cポートで接続する場合、USBポートで接続する場合、またFT80btアダプタを利用して接続する場合とも基本的に共通です。

本書では、Windows[®] XP、Windows[®] Me、Windows[®] 98、Windows[®] 98 Second Edition、Windows[®] 2000、Windows NT[®] 4.0、Mac OSの設定について説明しています。

Windows[®] XPをご利用の場合 (☞P7)

Windows[®] Meをご利用の場合 (☞P19)

Windows[®] 98、98 Second Editionをご利用の場合 (☞P28)

Windows[®] 2000をご利用の場合 (☞P48)

Windows NT[®] 4.0 をご利用の場合 (☞P60)

Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2をご利用の場合 (☞P65)

Mac OS Xをご利用の場合 (☞P69)



お知らせ

本書での説明は、一例を示しています。詳細は、ソフトウェアメーカ、パソコンメーカ、インターネットサービスプロバイダなどへお問い合わせください。

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

接続先の設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントに接続するための情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、パスワード、アクセスポイントなどの情報が必要です。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、
[コントロールパネル]をクリックする。



- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

右のように表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックして、右のような表示に切り替えます。

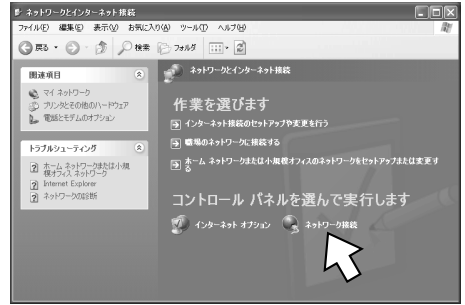


お知らせ

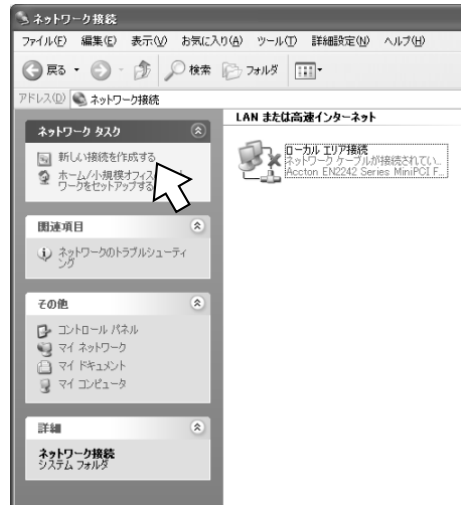
画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

1
準備2
XP
WINDOWS®3
Me
WINDOWS®4
98
WINDOWS®
2000
XP5
2000
WINDOWS®6
NT®
4.0
WINDOWS7
Mac OS8
参考

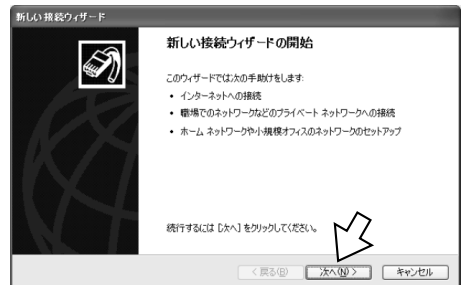
3 [コントロールパネルを選んで実行します]にある[ネットワーク接続]をクリックする。



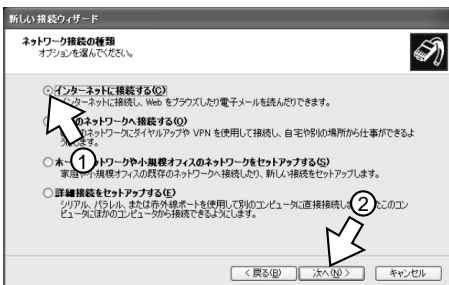
4 [ネットワークタスク]にある[新しい接続を作成する]をクリックする。



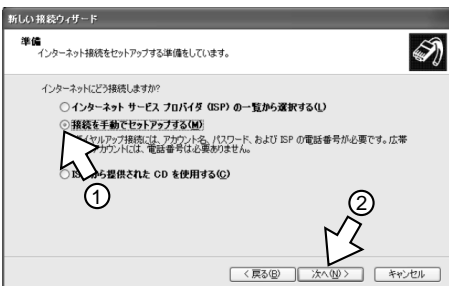
5 [次へ>]をクリックする。



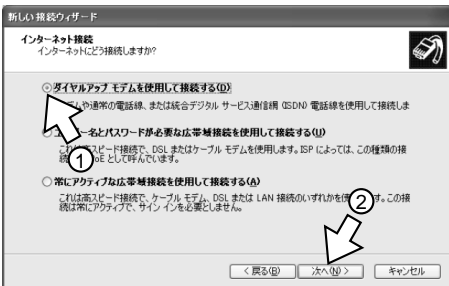
6 [インターネットに接続する] をチェックして [次へ>] をクリックする。



7 [接続を手動でセットアップする] をチェックして [次へ>] をクリックする。



8 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する] をチェックして [次へ>] をクリックする。



(前ページの続きです)

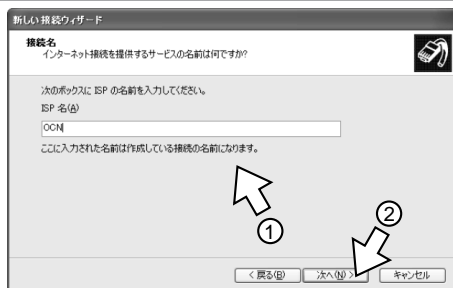
9 「デバイスの選択」画面が表示された場合は以下のようにデバイスを選択し、[次へ>]をクリックする。

- RS-232Cポートをご利用の場合
[INSメイトFT80bt]
- USBポートをご利用の場合
[INSメイトFT80bt USB]
- FT80btアダプタをご利用の場合
 - 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter MP]

表示されない場合は手順10に進みます。



10 [ISP名]を設定して[次へ>]をクリックする。

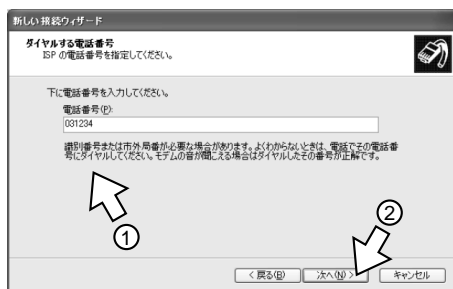


11 接続先の電話番号を設定して[次へ>]をクリックする。

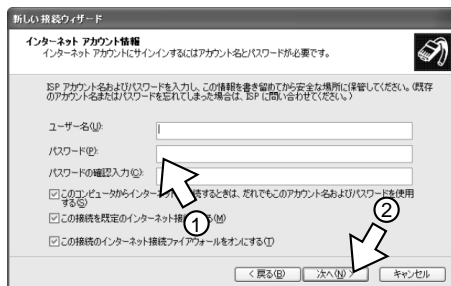
アクセスポイントの電話番号を入力してください。

MUX機能(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)をご利用になる場合は、[電話番号]に[90]と入力して、かつ、設定ユーティリティの「データポート設定」で「MUX発信アドレス」にアクセスポイントの電話番号を設定してください。

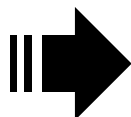
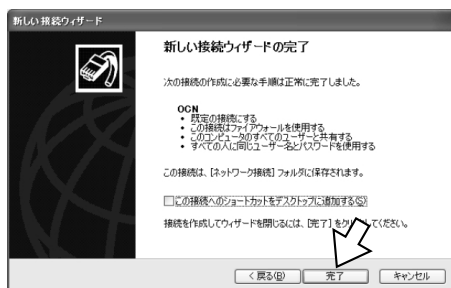
(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)



12 [ユーザー名] [パスワード] [パスワードの確認入力] を入力して [次へ>] をクリックする。



13 [完了] をクリックする。
[ネットワーク接続] の [ダイヤルアップ] に、作成したアイコンが表示され、接続のプロパティ画面が表示されます。



接続先の設定が終了したら、「TCP/IPの設定を行う」(P12)へ進みます。

TCP/IPの設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

RS-232Cポート、USBポートを用いて接続する場合は、モデムプロトコルの設定も合わせて行います。

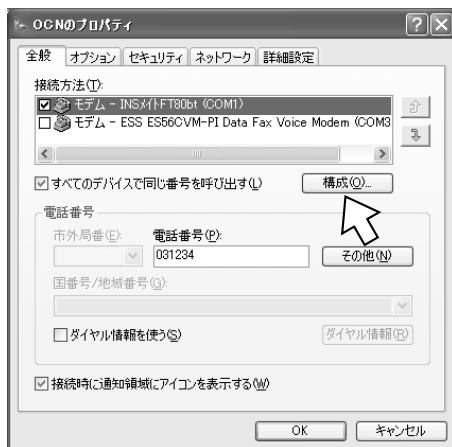
1 右の画面で [プロパティ] をクリックする。

右の画面が表示されていない場合は、[ネットワーク接続] の [ダイアルアップ] にある接続のアイコンをダブルクリックし、右の画面を表示します。



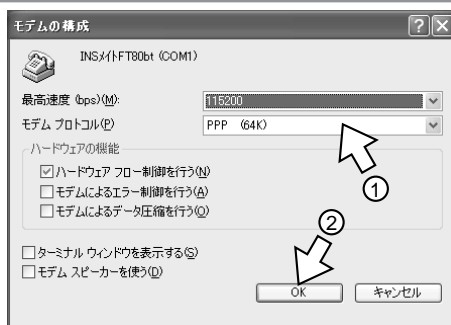
2 RS-232Cポート、USBポートを用いて接続する場合は [構成] をクリックする。

• FT80btアダプタを用いてワイヤレス接続する場合は、手順4へ進みます。



3 ご利用になる通信モードに合わせて最高速度およびモデムプロトコルを設定して [OK] をクリックする。

- 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[最高速度] 115 200 bps以下、
[モデムプロトコル]: PPP (64K)
- MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[最高速度] 230 400 bps
[モデムプロトコル]: PPP (128K)



4 [ネットワーク] をクリックする。



お知らせ

INSメイトFT80btのUSBポートを使用している時に、USBケーブルを抜き差しすると、最高速度が変わったり、モデムプロトコルの設定が変わったりする場合があります。その場合は、再度設定しなおしてください。

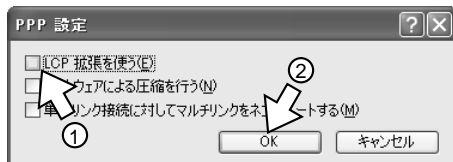
(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

5 [設定] をクリックする。



6 すべての のチェックを外し、[OK] をクリックする。



7 [インターネットプロトコル] をチェックし、[プロパティ] をクリックする。

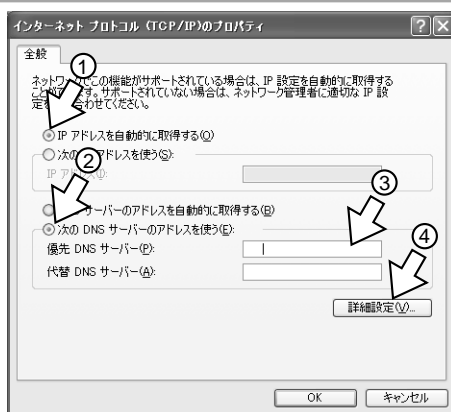


8 [次のDNSサーバーのアドレスを使う] をクリックし、DNSサーバーの設定をして、[詳細設定] をクリックする。

• [IPアドレスを自動的に取得する] にチェックがあることを確認します。

• [優先DNSサーバー] にプロバイダから通知されたDNSサーバのIPアドレスを入力してください。

プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合は、[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] をチェックします。



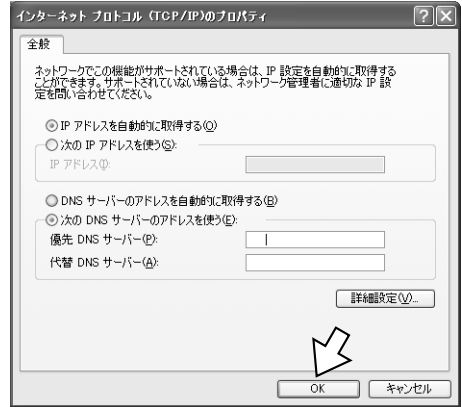
9 [IPヘッダーの圧縮を行う] のチェックを外し、[OK] をクリックする。



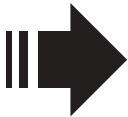
(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

10 [OK] をクリックする。



11 [OK] をクリックする。
これで設定は完了です。



TCP/IP の設定が終了したら、「インターネットに接続する」(P17) へ進みます。

インターネットに接続する (Windows® XP)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。
プロバイダから通知されたユーザID、パスワードなどの情報が必要です。

1 準備

- 1** FT80btアダプタを用いてワイヤレス接続する場合は、あらかじめFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動して、ワイヤレス接続が可能な状態にする。(取扱説明書P90)

RS-232Cポート、USBポートを用いて接続する場合は、手順2から始めます。

2 XP Windows®

- 2** [スタート] ボタンをクリックし、[接続] - [ISP名] をクリックする。

- [ISP名] は、[接続先の設定を行う] で設定した名称です。
- [TCP/IPの設定を行う] に引き続いて行った場合は、この手順は不要です。



3 Me Windows®

- 3** [ダイヤル] をクリックする。

回線が接続されます。

接続が完了した際に、[接続] 画面が表示された場合は、[閉じる] をクリックします。

4 98 Windows®



5 2000 Windows®

6 NT® Windows 4.0

7 MacOS

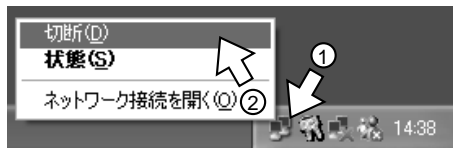
8 参考

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

- 4** ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。
操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。

- 5** 終了するときは、画面右下の [ダイヤルアップ接続] アイコンを右クリックし、[切断] をクリックする。



- 6** FT80btアダプタを用いてワイヤレス接続していた場合は、[FT80btアダプタ接続ユーティリティ] を終了する。(←取扱説明書P113)



お知らせ

回線を正常に切断できない場合には、INSメイトFT80btの切断ボタンを押して切断してください。それでも切断できない場合は、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。回線が切断できた場合は、INSメイトFT80btの液晶ディスプレイのBチャンネル通信中表示が消えます。(←取扱説明書P26)
接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。



お願い

FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続する場合は、インターネットに接続する前に、必ずワンタッチ接続の設定(←取扱説明書P88)を行っていることを確認し、かつ「ワイヤレス接続するには」の操作(←取扱説明書P90)を行ってワイヤレス通信が可能な状態にしてください。この操作を行わないとインターネットに接続できません。

FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続する場合に通信を終了するときは、手順5の回線を切断する操作を行った後、必ず取扱説明書P113の手順に従って、FT80btアダプタ接続ユーティリティの終了操作を行ってから、パソコンを終了してください。FT80btアダプタ接続ユーティリティを起動したままパソコンを終了すると、通信が正常に切断されなかったり、次回以降インターネット接続ができなかったりする場合があります。

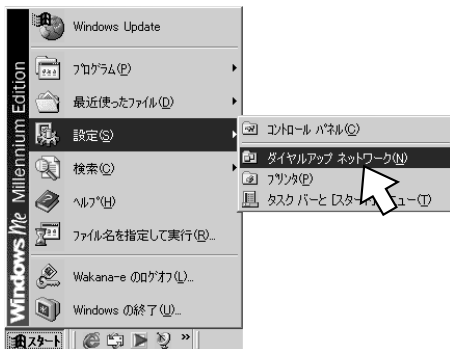
接続の設定をする (Windows® Me)

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

接続先の設定を行う

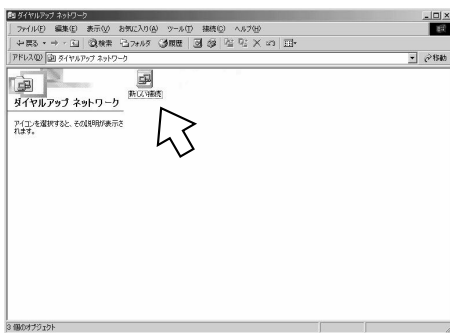
ご利用になるインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントに接続するための情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、アクセスポイントなどの情報が必要です。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、
[設定] - [ダイヤルアップネット
ワーク] をクリックする。



- 2 [新しい接続] アイコンをダブルク
リックする。

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」の画面が表示されたときは、[次へ] をクリックします。



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

(次ページへ続きます)

1
準
備

2
XP
W
I
N
D
O
W
S
®

3
Me
W
I
N
D
O
W
S
®

4
9
8
W
I
N
D
O
W
S
®

5
2000
W
I
N
D
O
W
S
®

6
NT
W
I
N
D
O
W
S
®
4.0

7
M
a
c
O
S

8
参
考

接続の設定をする (Windows® Me)

(前ページの続きです)

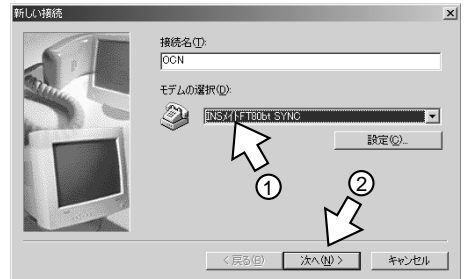
- 3 [接続名] にプロバイダ名、アクセスポイントなど、任意の名前を入力する。



- 4 [モデムの選択] を設定し、[次へ>] をクリックする。

[モデムの選択] は、アクセスポイントに合わせて選択してください。

- RS-232Cポートをご利用の場合
 - 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[INSメイトFT80bt SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[INSメイトFT80bt MP]
- USBポートをご利用の場合
 - 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[INSメイトFT80bt USB SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[INSメイトFT80bt USB MP]
- FT80btアダプタをご利用の場合
 - 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter MP]

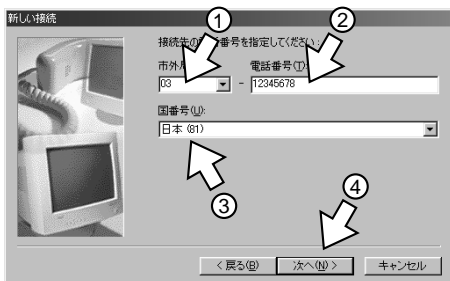


5 接続先の電話番号を入力し、[次へ>]をクリックする。

アクセスポイントの電話番号を入力してください。

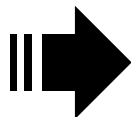
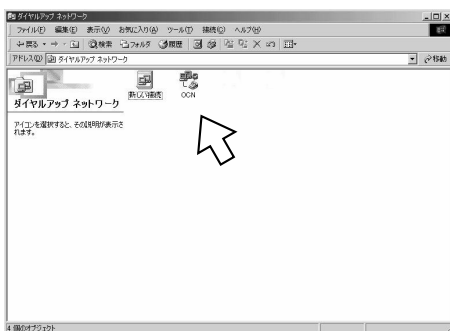
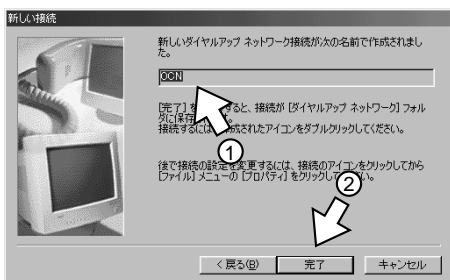
[国番号]は[日本(81)]を選択してください。

MUX機能(←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)をご利用になる場合は、[電話番号]に[90]と入力し、[市外局番]は空白にして、かつ、設定ユーティリティの「データポート設定」で、「MUX発信アドレス」にアクセスポイントの電話番号を設定してください。(←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)



6 ダイアルアップネットワークに作成されたアイコンの名前を確認し、[完了]をクリックする。

ダイヤルアップネットワークに、作成したアイコンが表示されます。

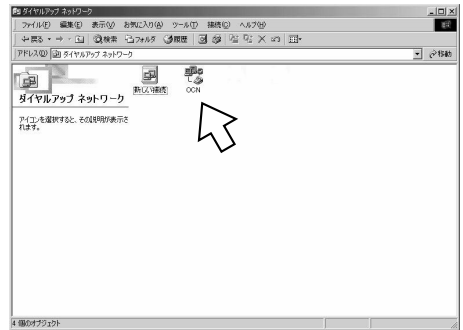


接続先の設定が終了したら、「TCP/IPの設定を行う」(←P22)へ進みます。

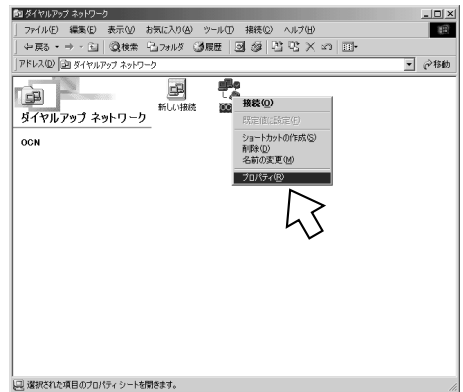
TCP/IPの設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

- 1 「接続先の設定を行う」で作成したアイコンを右クリックする。
ショートカットメニューが表示されます。



- 2 ショートカットメニューの [プロパティ] をクリックする。



3 [ネットワーク] をクリックする。



4 [詳細オプション] [使用できるネットワークプロトコル] を設定し、[TCP/IP設定] をクリックする。

[詳細オプション]の各項目のチェックはすべて外してください。

[使用できるネットワークプロトコル]は、[TCP/IP]のみチェックし、その他のチェックを外してください。



(次ページへ続きます)

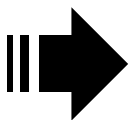
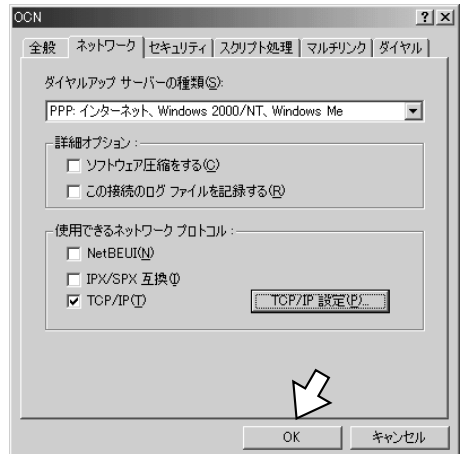
(前ページの続きです)

5 TCP/IPの設定をして、[OK] をクリックする。

- [サーバーが割り当てたIPアドレス] にチェックがあることを確認します。
- [ネームサーバーアドレスを指定する] をクリックし、プライマリDNSにプロバイダから通知されたDNSサーバのIPアドレスを入力してください。
プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合は [サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス] をチェックします。

**6** [OK] をクリックする。

これで設定は完了です。



TCP/IPの設定が終了したら、「インターネットに接続する」(P25)へ進みます。

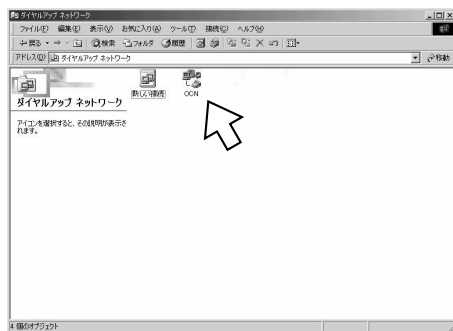
インターネットに接続する (Windows® Me)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。
プロバイダから通知されたユーザID、パスワードなどの情報が必要です。

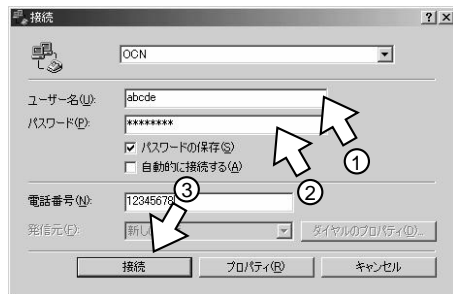
1 FT80btアダプタを用いてワイヤレス接続する場合は、あらかじめFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動して、ワイヤレス接続が可能な状態にする。
(☞取扱説明書P90)

RS-232Cポート、USBポートを用いて接続する場合は、手順2から始めます。

2 作成した接続のアイコンをダブルクリックする。



3 [ユーザー名] [パスワード]を入力し、[接続]をクリックする。



接続中の画面が表示されます。



接続が完了した際に [接続] 画面が表示された場合は、[閉じる] をクリックします。

1
準備

2
XP
Windows®

3
Me
Windows®

4
98
Windows®
2000
Windows®

5
2000
Windows®

6
NT
Windows®
4.0

7
Mac OS

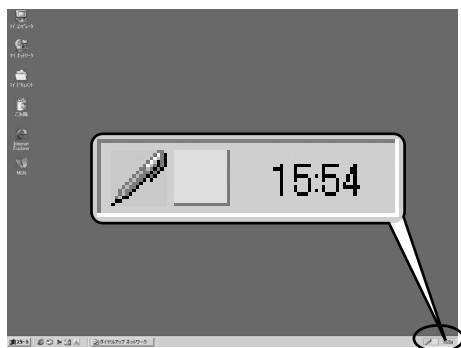
8
1
参考

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

インターネット接続中は、画面右下のアイコンが次のように変わります。

接続していないとき



接続しているとき



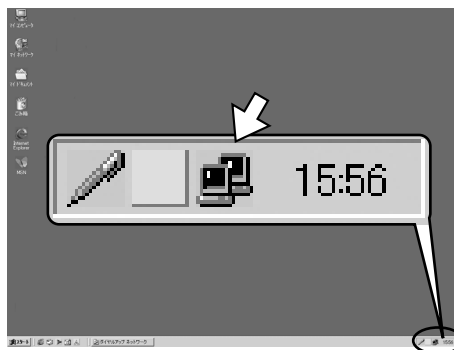
4 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。

ブラウザはホームページを見るソフトウェアです。Windows®にはInternet Explorerというソフトウェアが付属しています。

5 終了するときは、画面右下の [接続] アイコンを右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。



6 [切断] をクリックする。

回線が切断されます。

「...への接続を終了しますか?」と表示された場合は、[今すぐ切断する] をクリックします。



7 FT80btアダプタを用いてワイヤレス接続していた場合は、[FT80btアダプタ接続ユーティリティ] を終了する。(☛取扱説明書P113)

STOP お問い合わせ

FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続する場合は、インターネットに接続する前に、必ずワンタッチ接続の設定(☛取扱説明書P88)を行っていることを確認し、かつ「ワイヤレス接続するには」の操作(☛取扱説明書P90)を行ってワイヤレス通信が可能な状態にしてください。この操作を行わないとインターネットに接続できません。

FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続する場合に通信を終了するときは、手順6の回線を切断する操作を行った後、必ず取扱説明書P113の手順に従って、FT80btアダプタ接続ユーティリティの終了操作を行ってから、パソコンを終了してください。FT80btアダプタ接続ユーティリティを起動したままパソコンを終了すると、通信が正常に切断されなかったり、次回以降インターネット接続ができなかったりする場合があります。

お知らせ

回線を正常に切断できない場合には、INSメイトFT80btの切断ボタンを押して切断してください。それでも切断できない場合は、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。回線が切断できた場合は、INSメイトFT80btの液晶ディスプレイのBチャンネル通信中表示が消えます。(☛取扱説明書P26)

接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。パソコンにダイヤルアップネットワーク、TCP/IPがインストールされていない場合は、Windows® のCD-ROMからインストールする必要があります。

設定の流れ

ダイヤルアップネットワークがインストールされているかどうかを確認する(☞下記)

ない

ある

ダイヤルアップネットワーク
をインストールする(☞P38)

TCP/IPがインストールされているかどうかを確認する(☞P30)

ない

ある

TCP/IPをインストールする
(☞P42)

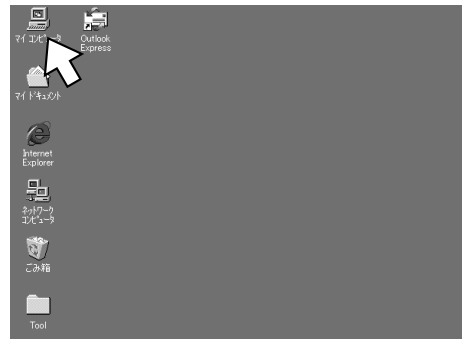
接続先の設定を行う(☞P31)

TCP/IPの設定を行う(☞P35)

ダイヤルアップネットワークを確認する

インターネットの接続に必要な「ダイヤルアップネットワーク」がインストールされているかどうかを確認します。

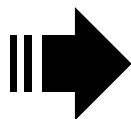
1 デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする。



2 [ダイヤルアップネットワーク] アイコンがあるかどうか確認する。



3 ×ボタンをクリックして、[マイコンピュータ] ウィンドウを閉じる。



[ダイヤルアップネットワーク] アイコンがある場合
「TCP/IPを確認する」(←P30)へ進みます。

[ダイヤルアップネットワーク] アイコンがない場合 「ダイヤルアップネットワークをインストールする」(←P38)へ進みます。

お知らせ

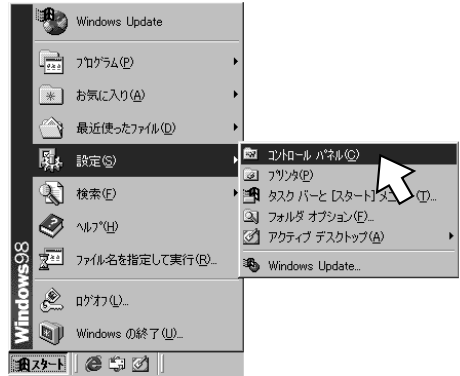
画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

TCP/IPを確認する

インターネットの接続に必要な「TCP/IP」がインストールされているかどうかを確認します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、
[設定]-[コントロールパネル]
をクリックする。

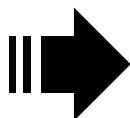


- 2 [ネットワーク] アイコンをダブル
クリックする。



3 [ネットワークの設定] の一覧に [TCP/IP - > ダイヤルアップアダプタ] があるかどうか確認して、[キャンセル] をクリックする。

- 「ダイヤルアップアダプタ」の表示はパソコンの機種により異なる場合があります。



[TCP/IP - > ダイヤルアップアダプタ] がある場合 「接続先の設定を行う」(←下記) へ進みます。

[TCP/IP - > ダイヤルアップアダプタ] がいない場合 「TCP/IPをインストールする」(←P42) へ進みます。

接続先の設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントに接続するための情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、アクセスポイントなどの情報が必要です。

1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。



(次ページへ続きます)

接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

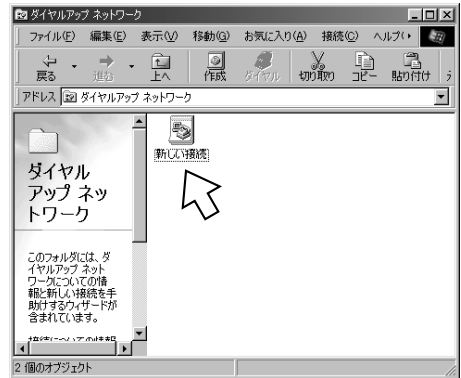
(前ページの続きです)

2 [ダイヤルアップネットワーク] アイコンをダブルクリックする。

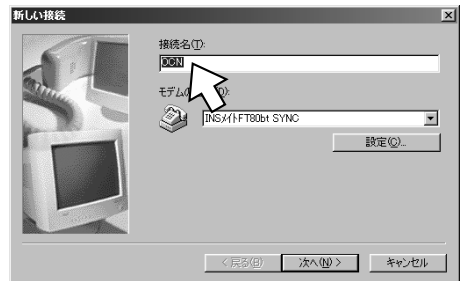


3 [新しい接続] アイコンをダブルクリックする。

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」の画面が表示されたときは、[次へ]をクリックします。



4 [接続名] にプロバイダ名、アクセスポイントなど、任意の名前を入力する。



5 [モデムの選択]を設定し、[次へ>]をクリックする。

[モデムの選択]は、アクセスポイントに合わせて選択してください。

- RS-232Cポートをご利用の場合、またはWindows® 98でUSBポートをご利用の場合
 - 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[INSメイトFT80bt SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[INSメイトFT80bt MP]
- Windows® 98 Second EditionでUSBポートをご利用の場合
 - 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[INSメイトFT80bt USB SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[INSメイトFT80bt USB MP]
- FT80btアダプタをご利用の場合（Windows® 98 Second Editionのみ）
 - 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter MP]

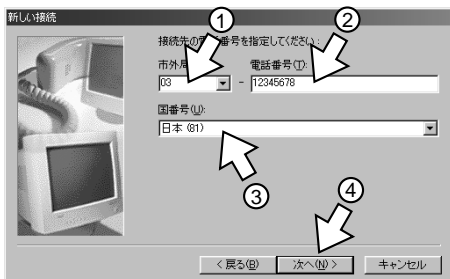


6 接続先の電話番号を入力し、[次へ>]をクリックする。

アクセスポイントの電話番号を入力してください。

[国番号]は[日本(81)]を選択してください。

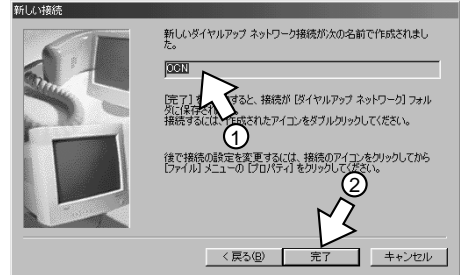
MUX機能（←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）をご利用になる場合は、[電話番号]に[90]と入力し、[市外局番]は空白にして、かつ、設定ユーティリティの「データポート設定」で、「MUX発信アドレス」にアクセスポイントの電話番号を設定してください。（←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）



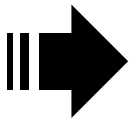
接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

(前ページの続きです)

7 ダイヤルアップネットワークに作成されたアイコンの名前を確認し、[完了]をクリックする。



ダイヤルアップネットワークに、作成したアイコンが表示されます。



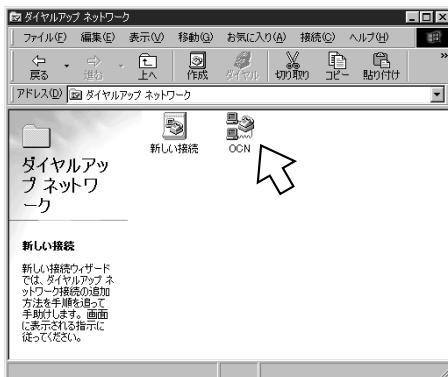
接続先の設定が終了したら、「TCP/IPの設定を行う」(←P35)へ進みます。

TCP/IPの設定を行う

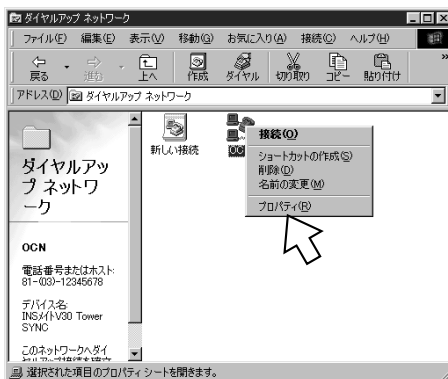
ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

1 「接続先の設定を行う」で作成したアイコンを右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。



2 ショートカットメニューの [プロパティ] をクリックする。

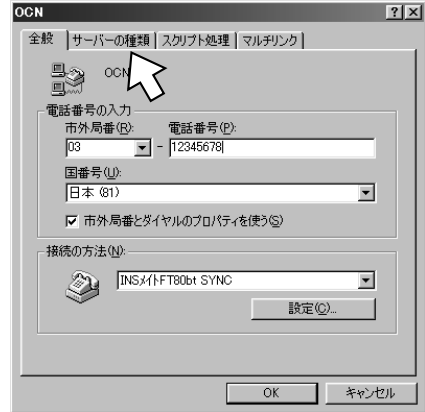


(次ページへ続きます)

接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

(前ページの続きです)

3 [サーバーの種類] をクリックする。



4 [詳細オプション] [使用できるネットワークプロトコル] を設定し、[TCP/IP設定] をクリックする。

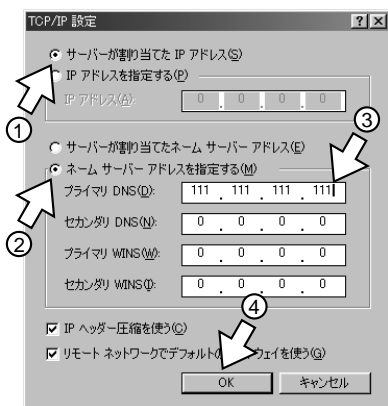
[詳細オプション]の各項目のチェックはすべて外してください。

[使用できるネットワークプロトコル]は、[TCP/IP]のみチェックし、その他のチェックを外してください。

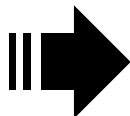


5 TCP/IPの設定をして、[OK]をクリックする。

- [サーバーが割り当てたIPアドレス]にチェックがあることを確認します。
- [ネームサーバーアドレスを指定する]をクリックし、プライマリDNSにプロバイダから通知されたDNSサーバのIPアドレスを入力してください。
プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合は[サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス]をチェックします。



6 [OK]をクリックする。 これで設定は完了です。



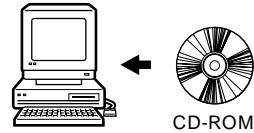
TCP/IPの設定が終了したら、「インターネットに接続する」(P45)へ進みます。

接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

ダイヤルアップネットワークをインストールする

「ダイヤルアップネットワーク」がインストールされていない場合は、Windows® のCD-ROMからインストールします。

- 1 Windows® のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする。



- 2 「スタート」ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。



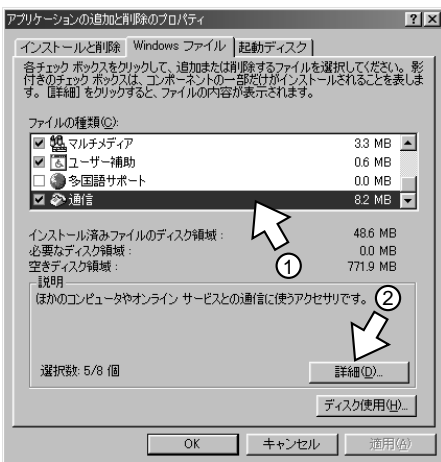
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする。



4 [Windowsファイル] をクリックする。



5 [ファイルの種類] から [通信] を選択し、[詳細] をクリックする。

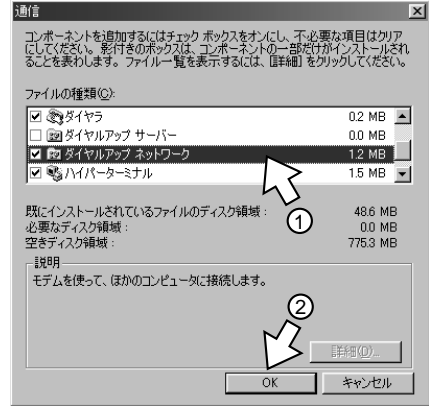


接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

(前ページの続きです)

6 [ファイルの種類] の [ダイヤルアップネットワーク] をチェックして、[OK] をクリックする。

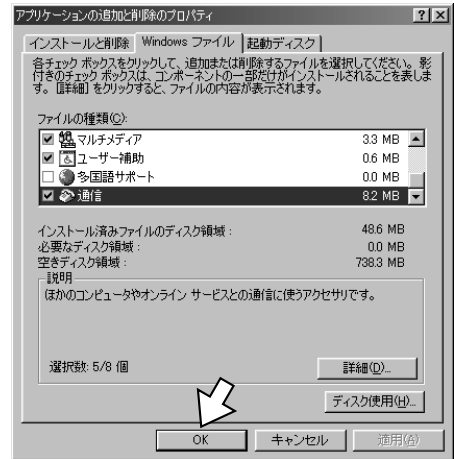
[ダイヤルアップネットワーク] がチェックされているときは、すでにダイヤルアップネットワークがインストールされています。[キャンセル] をクリックしてインストールを中止してください。



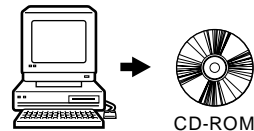
7 [OK] をクリックする。

Windows® のディスクを要求された場合は、画面の指示に従ってください。

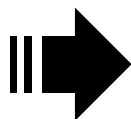
以上でインストールは完了です。



8 CD-ROMドライブからCD-ROM を取り出す。



9 パソコンを再起動する。再起動することにより、ダイヤルアップネットワークが有効になります。



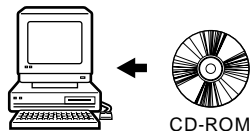
「TCP/IPを確認する」(P30)へ進みます。

接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

TCP/IPをインストールする

「TCP/IP」がインストールされていない場合は、Windows® のCD-ROMからインストールします。

- 1 Windows® のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする。



- 2 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。



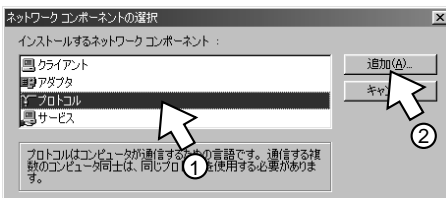
- 3 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする。



4 「ネットワークの設定」の [追加] をクリックする。

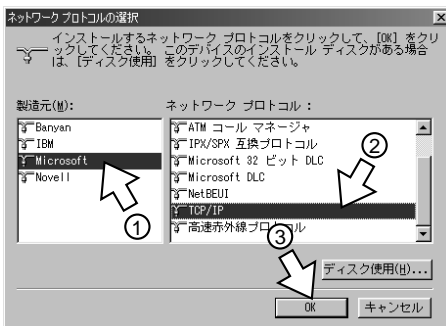


5 [プロトコル] を選択し、[追加] をクリックする。



6 [製造元] から [Microsoft] を選択し、[ネットワークプロトコル] から [TCP/IP] を選択し、[OK] をクリックする。

Windows® のディスクを要求された場合は、画面の指示に従ってください。「DHCP クライアント」画面が表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。



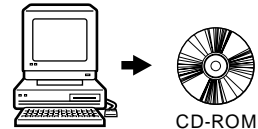
接続の設定をする (Windows® 98/98 Second Edition)

(前ページの続きです)

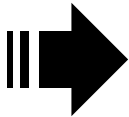
7 [OK] をクリックする。



8 CD-ROMドライブからCD-ROMを
取り出す。



9 パソコンを再起動する。
再起動することにより、「TCP/IP」が有効になります。



接続先の設定を行う (← P31) へ進みます。

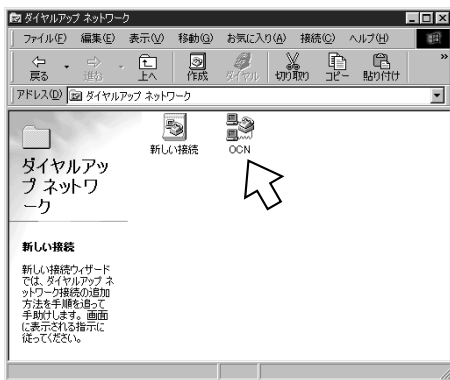
インターネットに接続する (Windows® 98/98 Second Edition)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。
プロバイダから通知されたユーザID、パスワードなどの情報が必要です。

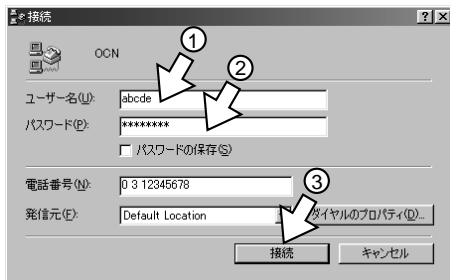
1 Windows® 98 Second EditionでFT80btアダプタを用いてワイヤレス接続する場合は、あらかじめFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動して、ワイヤレス接続が可能な状態にする。(←取扱説明書P90)

RS-232Cポート、USBポートを用いて接続する場合は、手順2から始めます。

2 作成した接続のアイコンをダブルクリックする。



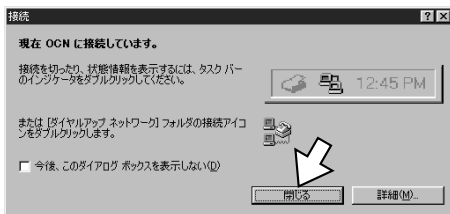
3 [ユーザー名] [パスワード]を入力し、[接続]をクリックする。



接続中の画面が表示されます。



接続が完了した際に、右のように表示された場合は、[閉じる]をクリックします。

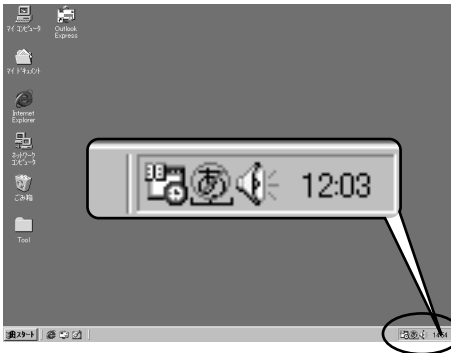


インターネットに接続する (Windows® 98/98 Second Edition)

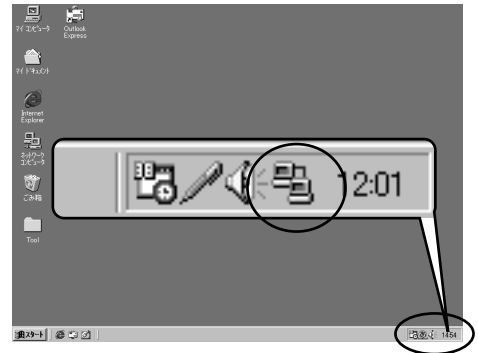
(前ページの続きです)

インターネット接続中は、画面右下のアイコンが次のように変わります。

接続していないとき



接続しているとき



4 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

ブラウザはホームページを見るソフトウェアです。Windows® にはInternet Explorerというソフトウェアが付属しています。

5 終了するときは、画面右下の [接続] アイコンを右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。



- 6 [切断] をクリックする。
回線が切断されます。



- 7 Windows® 98 Second EditionでFT80btアダプタを用いてワイヤレス接続していた場合は、[FT80btアダプタ接続ユーティリティ] を終了する。(☛取扱説明書P113)

STOP お願い

FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続する場合は、インターネットに接続する前に、必ずワンタッチ接続の設定(☛取扱説明書P88)を行っていることを確認し、かつ「ワイヤレス接続するには」の操作(☛取扱説明書P90)を行ってワイヤレス通信が可能な状態にしてください。この操作を行わないとインターネットに接続できません。

FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続する場合に通信を終了するときは、手順6の回線を切断する操作を行った後、必ず取扱説明書P113の手順に従って、FT80btアダプタ接続ユーティリティ終了操作を行ってから、パソコンを終了してください。FT80btアダプタ接続ユーティリティを起動したままパソコンを終了すると、通信が正常に切断されなかったり、次回以降インターネット接続ができなかったりする場合があります。

お知らせ

回線を正常に切断できない場合には、INSメイトFT80btの切断ボタンを押して切断してください。それでも切断できない場合は、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。回線が切断できた場合は、INSメイトFT80btの液晶ディスプレイのBチャンネル通信中表示が消えます。(☛取扱説明書P26)
接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

接続先の設定を行う

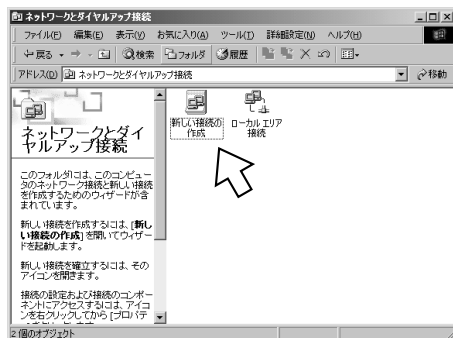
ご利用になるインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントに接続するための情報を設定します。プロバイダから通知されたユーザID、パスワード、アクセスポイントなどの情報が必要です。

- 1 [マイネットワーク] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする。



- 2 [新しい接続の作成] アイコンをダブルクリックする。

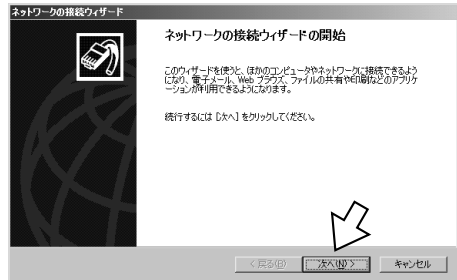
ネットワークの接続ウィザードが表示されます。



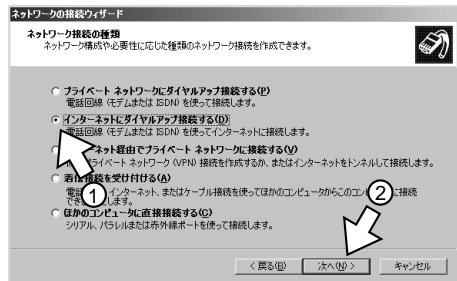
お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

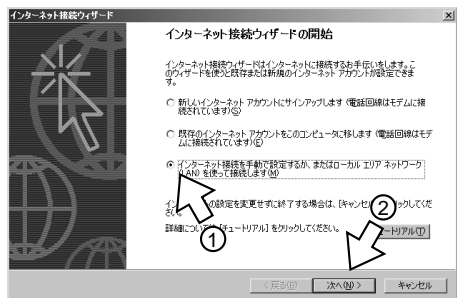
3 [次へ>] をクリックする。



4 [インターネットにダイヤルアップ接続する] をチェックして [次へ>] をクリックする。

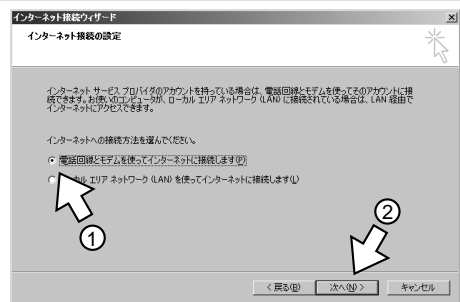


5 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク (LAN) を使って接続します] をチェックして [次へ>] をクリックする。



(前ページの続きです)

6 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します] をチェックして [次へ >] をクリックする。



7 「モデムの選択」画面が表示された場合は以下のようにモデムを選択し、[次へ >] をクリックする。

- RS-232Cポートをご利用の場合
[INSメイトFT80bt]
- USBポートをご利用の場合
[INSメイトFT80bt USB]
- FT80btアダプタをご利用の場合
 - 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter MP]

表示されない場合は手順8に進みます。

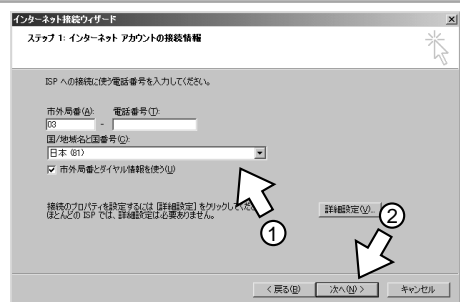


8 接続先の電話番号を設定して [次へ >] をクリックする。

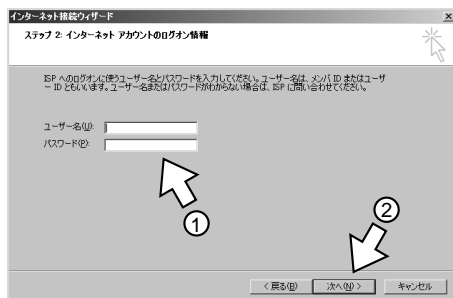
アクセスポイントの電話番号を入力してください。

[国番号] は [日本 (81)] を選択してください。

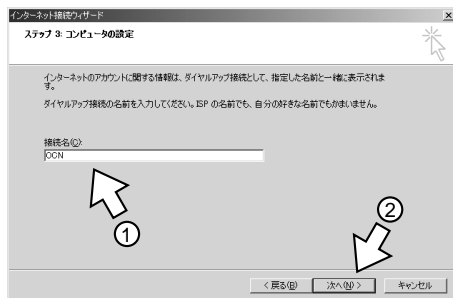
MUX機能 (←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」) をご利用になる場合は、[電話番号] に [90] と入力し、[市外局番とダイヤル情報を使う] のチェックを外して、かつ、設定ユーティリティの「データポート設定」で、「MUX発信アドレス」にアクセスポイントの電話番号を設定してください。(←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)



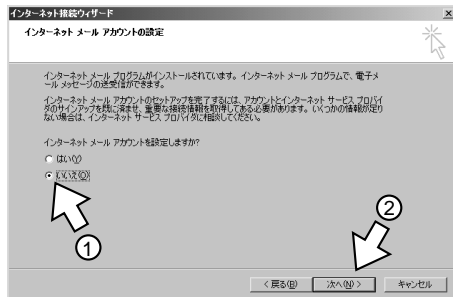
9 [ユーザー名] [パスワード]を入力して[次へ>]をクリックする。



10 [接続名]を設定して[次へ>]をクリックする。



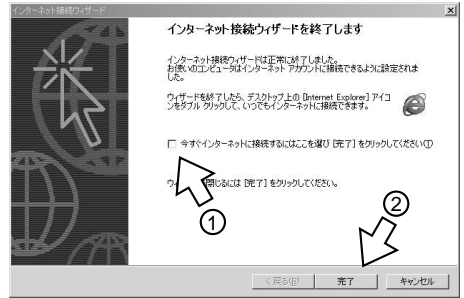
11 [いいえ]をチェックし、[次へ>]をクリックする。



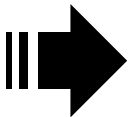
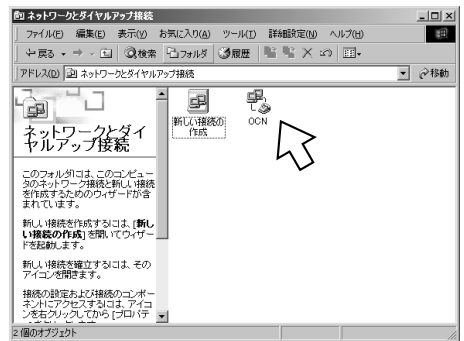
(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

12 [今すぐインターネットに接続するにはここを選び [完了] をクリックしてください] のチェックを外し、[完了] をクリックする。



ネットワークとダイヤルアップ接続に、作成したアイコンが表示されます。



接続先の設定が終了したら、「TCP/IPの設定を行う」(P53)へ進みます。

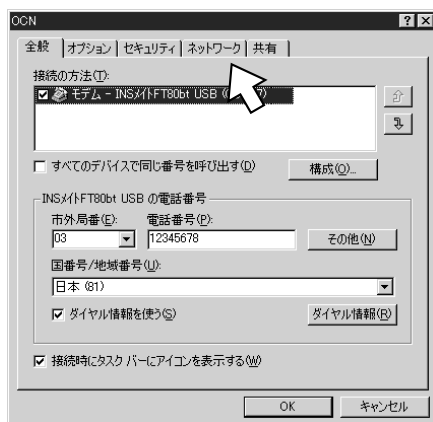
TCP/IPの設定を行う

ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

- 1 「接続先の設定を行う」で作成したアイコンを右クリックし、ショートカットメニューの[プロパティ]をクリックする。



- 2 [ネットワーク] をクリックする。



(次ページへ続きます)

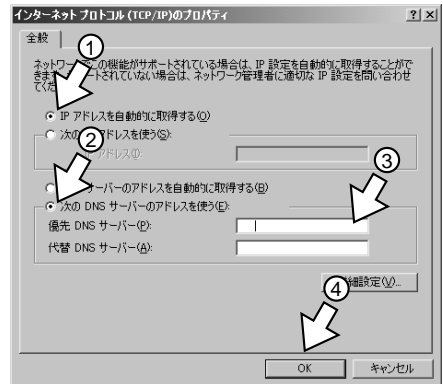
(前ページの続きです)

- 3 [インターネットプロトコル]のみをチェックし、[プロパティ]をクリックする。

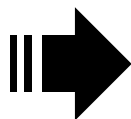
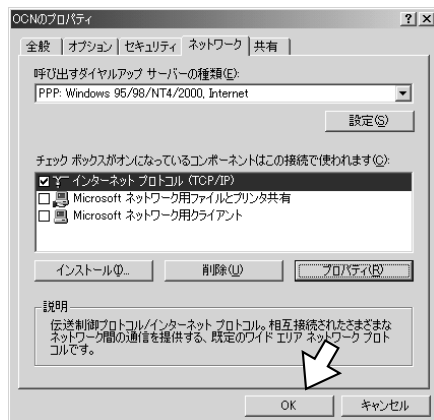


- 4 [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、DNSサーバーの設定をして、[OK]をクリックする。

- [IPアドレスを自動的に取得する]にチェックがあることを確認します。
- [優先DNSサーバー]にプロバイダから通知されたDNSサーバのIPアドレスを入力してください。
プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合は、[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]をチェックします。



5 [OK] をクリックする。
これで設定は完了です。



TCP/IPの設定が終了したら、「インターネットに接続する」(P56)へ進みます。

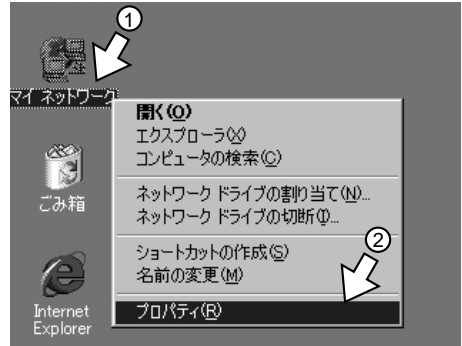
インターネットに接続する (Windows® 2000)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。
プロバイダから通知されたユーザID、パスワードなどの情報が必要です。

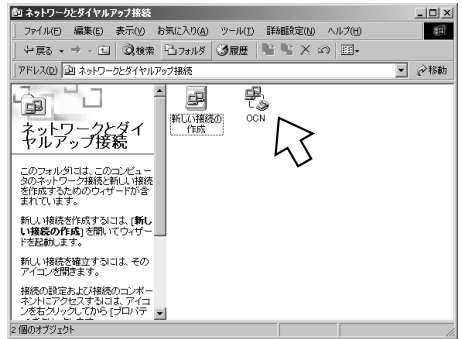
- 1** FT80btアダプタを用いてワイヤレス接続する場合は、あらかじめFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動して、ワイヤレス接続が可能な状態にする。(←取扱説明書P90)

RS-232Cポート、USBポートを用いて接続する場合は、手順2から始めます。

- 2** [マイネットワーク] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする。



- 3** [接続先の設定を行う] で作成したアイコンをダブルクリックする。

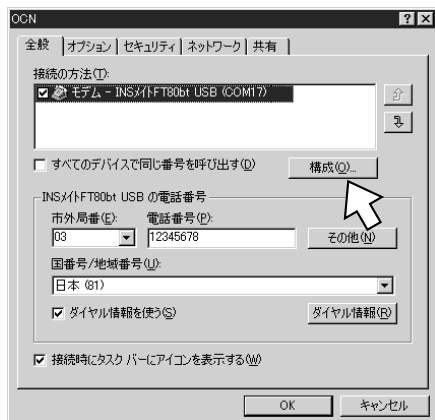


- 4** RS-232Cポート、USBポートを用いて接続する場合は、[プロパティ] をクリックする。

- FT80btアダプタを用いてワイヤレス接続する場合は、手順8へ進みます。
- 2回目以降に接続する場合も、手順8へ進みます。

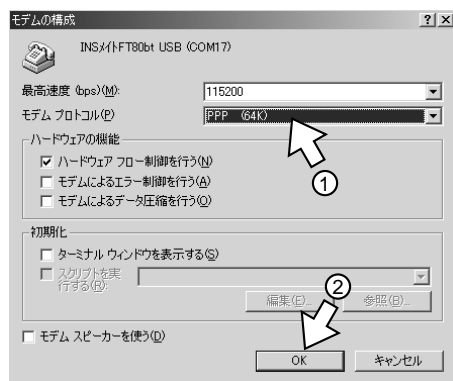



5 [構成] をクリックする。



6 ご利用になる通信モードに合わせて最高速度およびモデムプロトコルを設定して [OK] をクリックする。

- 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[最高速度] 115 200 bps以下、
[モデムプロトコル]: PPP (64K)
- MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[最高速度] 230 400 bps
[モデムプロトコル]: PPP (128K)

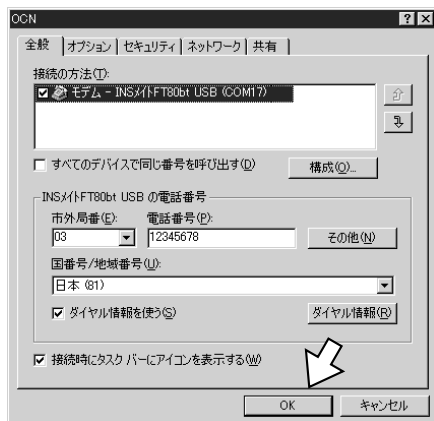

 お知らせ

INSx/FT80btのUSBポートを使用している時に、USBケーブルを抜き差しすると、最高速度が変わったり、モデムプロトコルの設定が変わったりする場合があります。その場合は、再度設定しなおしてください。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

7 [OK] をクリックする。



8 手順4の画面に戻り、[ユーザー名] [パスワード]を入力し、[ダイヤル]をクリックする。

回線が接続されます。

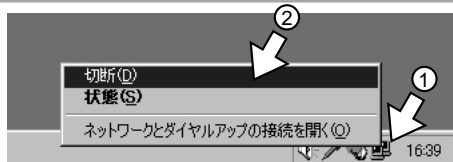
接続が完了した際に、[接続]画面が表示された場合は、[閉じる]をクリックします。




9 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。

10 終了するときは、画面右下の[ダイヤルアップ接続]アイコンを右クリックし、[切断]をクリックする。




11 FT80btアダプタを用いてワイヤレス接続していた場合は、[FT80btアダプタ接続ユーティリティ]を終了する。(←取扱説明書P113)

 **お願い**

FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続する場合は、インターネットに接続する前に、必ずワンタッチ接続の設定（☛取扱説明書P88）を行っていることを確認し、かつ「ワイヤレス接続するには」の操作（☛取扱説明書P90）を行ってワイヤレス通信が可能な状態にしてください。この操作を行わないとインターネットに接続できません。

FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続する場合に通信を終了するときは、手順10の回線を切断する操作を行った後、必ず取扱説明書P113の手順に従ってFT80btアダプタ接続ユーティリティの終了操作を行ってから、パソコンを終了してください。FT80btアダプタ接続ユーティリティを起動したままパソコンを終了すると、通信が正常に切断されなかったり、次回以降インターネット接続ができなかったりする場合があります。

 **お知らせ**

回線を正常に切断できない場合には、INSメイトFT80btの切断ボタンを押して切断してください。それでも切断できない場合は、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。回線が切断できた場合は、INSメイトFT80btの液晶ディスプレイのBチャンネル通信中表示が消えます。（☛取扱説明書P26）

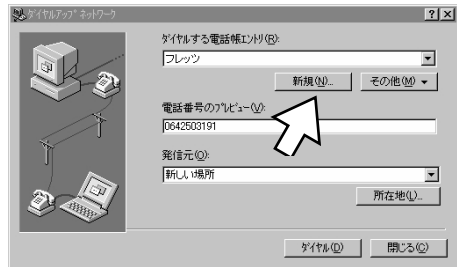
接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

Windows® 2000でインターネットにうまく接続できない場合は、Q&A（☛P76）を参照してください。

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

1 [マイコンピュータ]をダブルクリックし[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックする。

すでにほかの接続先が登録されている場合は、「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されますので[新規]をクリックします。



2 [エントリ名][電話番号]を入力する。

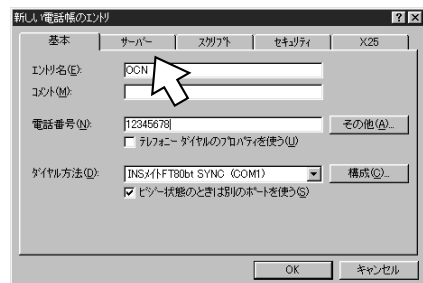
[エントリ名]はプロバイダ名、アクセスポイントなど、任意の名前を入力します。

[電話番号]はアクセスポイントの電話番号を入力します。

MUX機能(←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)をご利用になる場合は、[電話番号]に[90]と入力し、かつ、設定ユーティリティの「データポート設定」で、「MUX発信アドレス」にアクセスポイントの電話番号を設定してください。(←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)



3 画面上段の[サーバー]をクリックする。



お知らせ

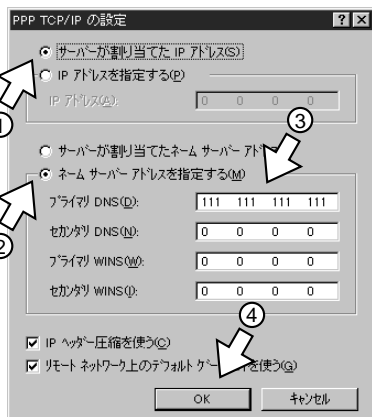
画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

4 [TCP/IP] のみチェックし、 [TCP/IPの設定] をクリックする。

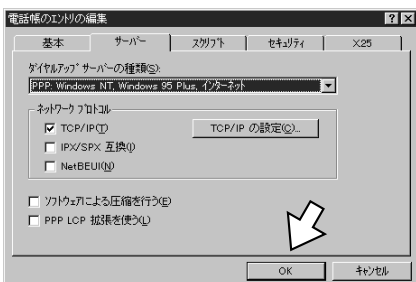


5 TCP/IPの設定をし、[OK] をクリックする。

- [サーバーが割り当てたIPアドレス] にチェックがあることを確認します。
- [ネームサーバーアドレスを指定する] をクリックし、プライマリDNSにプロバイダから通知されたDNSサーバのIPアドレスを入力してください。
- プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。その場合は、[サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス] をチェックします。

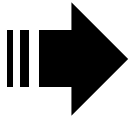


6 [電話帳のエントリの編集] 画面で [OK] をクリックする。



(前ページの続きです)

- 7 [ダイヤルアップネットワーク] 画面で [閉じる] をクリックする。
これで設定は完了です。



接続の設定が終了したら、「インターネットに接続する」(←P63)へ進みます。

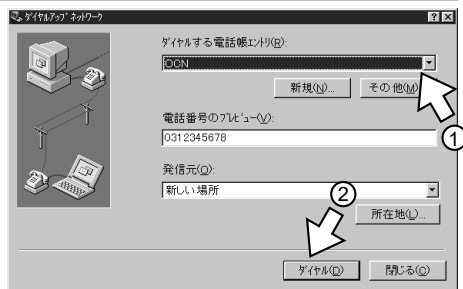
インターネットに接続する (Windows NT® 4.0)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。
プロバイダから通知されたユーザID、パスワードなどの情報が必要です。

1
準
備

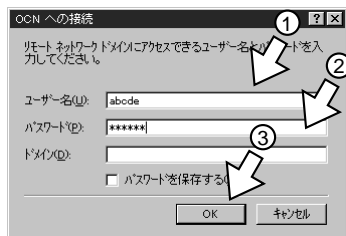
1 [マイコンピュータ]をダブルクリックし、[ダイヤルアップネットワーク]アイコンをダブルクリックする。

2 [ダイヤルする電話帳エントリ]を選択し、[ダイヤル]をクリックする。

2
XP
W
I
N
D
O
W
S
®3
Me
W
I
N
D
O
W
S
®

3 [ユーザー名] [パスワード]を入力し、[OK]をクリックする。

接続が完了すると、画面右下に[ダイヤルアップモジタ]アイコンが表示されます。

4
9
8
W
I
N
D
O
W
S
®
20005
2000
W
I
N
D
O
W
S
®6
NT
W
I
N
D
O
W
S
®
4.07
M
a
c
O
S

4 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

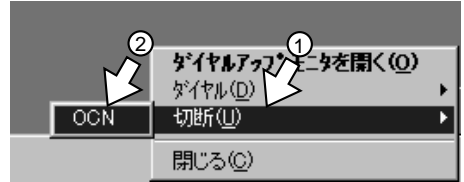
操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。

8
「」
参
考

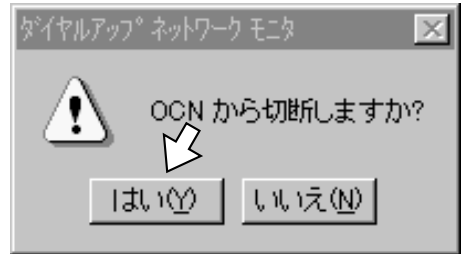
(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

- 5 終了するときは、[ダイヤルアップ モニタ] アイコンを右クリックし、[切断] - [エントリ名] をクリックします。



- 6 [はい] をクリックします。



お知らせ

回線を正常に切断できない場合には、INSメイトFT80btの切断ボタンを押して切断してください。それでも切断できない場合は、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。回線が切断できた場合は、INSメイトFT80btの液晶ディスプレイのBチャンネル通信中表示が消えます。(取扱説明書P26)

接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

以上の手順を行ってもインターネットに接続できない場合は、

[スタート] [設定] [コントロールパネル] [ネットワーク] [サービス] [リモートアクセスサービス] [プロパティ] をクリックし、「イーージーウィザードが利用できないときは」(取扱説明書「パソコン活用編・参考情報」)の「Windows NT® 4.0でRS-232Cポートを利用するには」の手順16～19の設定を行ってください。

接続の設定をする

(Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2)

インターネットに接続するために、接続先の設定、TCP/IPの設定を行います。

1 準備

1 [アップルメニュー] をプルダウンし、[コントロールパネル] - [モデム] を選択する。

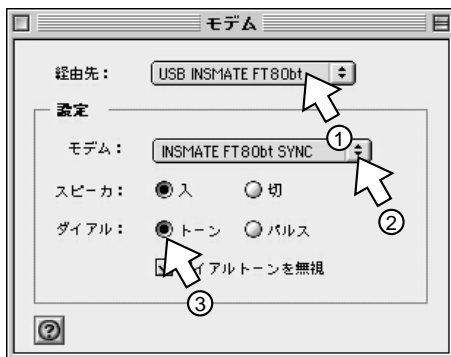
モデムのコントロールパネルが開きます。

2 XP
Windows®

2 モデムの設定を行う。

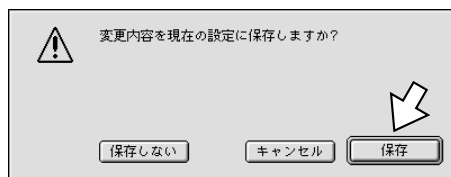
以下の内容を参考にして設定してください。

- [経由先].....RS-232Cポートをご利用の場合
本商品を接続したポートを [モデムポート] または [プリンタポート] から選択
- USBポートをご利用の場合 [USB INSMATE FT80bt] を選択
- [モデム].....同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するときは、 [INSMATE FT80bt SYNC] を選択
- MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するときは、 [INSMATE FT80bt MP] を選択
- [ダイヤル].....トーンを選択

3 Me
Windows®4 98
Windows®5 2000
Windows®

3 [モデム] のウィンドウを閉じる。

4 「変更内容を現在の設定に保存しますか？」と表示されたら、[保存] をクリックする。



(次ページへ続きます)

6 NT
Windows® 4.0

7 Mac OS

8 参考



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

接続の設定をする

(Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2)

(前ページの続きです)

5 [アップルメニュー] から、[コントロールパネル] – [TCP/IP] を選択する。

6 プロバイダの情報を設定する。

以下のように設定します。

[経由先] …… [PPP] を選択

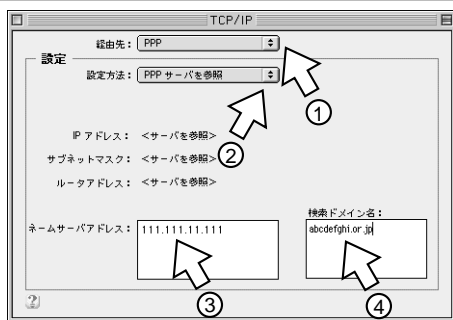
[設定方法] …… [PPPサーバを参照] を選択

[ネームサーバアドレス]

…………… プロバイダから通知された
ネームサーバアドレス

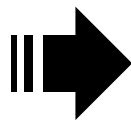
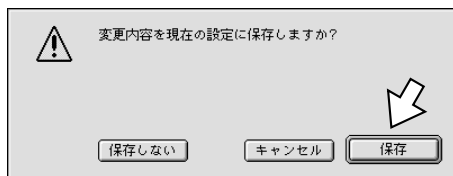
[検索ドメイン名]

…………… プロバイダから通知された
ドメインサーバ名



7 [TCP/IP] のウィンドウを閉じる。

8 「変更内容を現在の設定に保存しますか？」と表示されたら、[保存] をクリックする。



接続の設定が終了したら、「インターネットに接続する」(P67)へ進みます。

インターネットに接続する

(Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。
プロバイダから通知されたユーザID、パスワードなどの情報が必要です。

1 [アップルメニュー] から、[コントロールパネル] - [リモートアクセス] を選択する。

Mac OS 7.6、8.0、8.1をお使いの場合は、[アップルメニュー] から、[コントロールパネル] - [PPP] を選択する。

2 [名前] [パスワード] [電話番号] を入力し、[接続] をクリックする。

MUX機能 (←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」) をご利用になる場合、[電話番号] に [90] と入力し、かつ、設定ユーティリティの「データポート設定」で、「MUX発信アドレス」にアクセスポイントの電話番号を設定してください。(←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)



3 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。

1
準備2
XP
Windows®3
Me
Windows®4
98
Windows®
98 /
20005
2000
Windows®6
NT
Windows®
4.07
Mac OS8
参考

(次ページへ続きます)

インターネットに接続する

(Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2)

(前ページの続きです)

- 4** 終了するときは、[リモートアクセス]の[接続を切る]をクリックする。



ワンポイント

フリーウェアを使用してダイヤルアップ接続をする場合は Q&A (P76) を参照してください。



お知らせ

回線を正常に切断できない場合には、INSメイトFT80btの切断ボタンを押して切断してください。それでも切断できない場合は、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。回線が切断できた場合は、INSメイトFT80btの液晶ディスプレイのBチャンネル通信中表示が消えます。(取扱説明書P26)
接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

接続の設定をする (Mac OS X)

インターネットに接続するために必要な設定を行います。

1 アップルメニューの [システム環境設定] をクリックする。



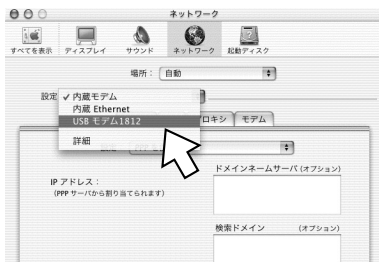
2 [ネットワーク] アイコンをクリックする。

ここで、「新しいポートが検出されました」画面が表示された場合は、[OK] をクリックします。



3 [設定] または [表示] の一覧からポートの種類を選択する。

- USBポートをご利用の場合
[USBモデム] または [USBモデムXXX] を選択
- RS-232Cポートをご利用の場合
本商品を接続しているポートに合わせて、
[モデムポート] または [プリンタポート] から選択
- 複数のポートをご利用の場合は、[設定] の [詳細] または [表示] の [動作中のネットワークポート] をクリックし、本商品を接続するポートをドラッグしてリスト内の一番上へ移動し、優先順位を1番に指定します。
また使用しない他のポートについては、リスト内の「入」チェックボックスのチェックを外してください。



(次ページへ続きます)

お知らせ

[USBモデムXXX] の「XXX」については、お使いのパソコンにより異なります。USBモデムが複数表示される場合があります。この場合、有効なモデムをモデム名称で判断することができません。実際に動作するモデムが有効なモデムとなります。画面はMac OS X (10.0.4) の例です。

1 準備

2 XP Windows

3 Me Windows

4 Windows 98

5 Windows 2000

6 NT Windows 4.0

7 Mac OS

8 参考

(前ページの続きです)

4 [TCP/IP] をクリックし、プロバイダから通知されたドメインネームサーバのIPアドレス、ドメイン名を入力する。

右のような画面が表示されていないときは [設定] で [PPPを使用] が表示されていることを確認します。



5 [PPP] をクリックし、プロバイダから通知された情報を入力する。

[サービスプロバイダ]: プロバイダ名など、任意の名前

[電話番号]: 接続先の電話番号

[代替番号]: [電話番号] に入力した接続先につながらないときの代替番号

[アカウント名]: 接続に必要なアカウント名

[パスワード]: 接続に必要なパスワード

MUX機能 (←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」) をご利用になる場合、[電話番号] に [90] と入力し、かつ、ターミナルソフトからATコマンドで、「MUX発信アドレス」にアクセスポイントの電話番号を設定してください。(←CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)



6 [パスワードを保存する] をチェックする。



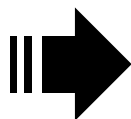
7 [モデム] をクリックし、接続するアクセスポイントに合わせて、モデム情報を選択する。

- 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するときは、[INSMATE FT80bt SYNC] を選択
- MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するときは、[INSMATE FT80bt MP] を選択



8 [保存] または [今すぐ適用] をクリックする。

これで設定は完了です。



「インターネットに接続する」(←P72) へ進みます。

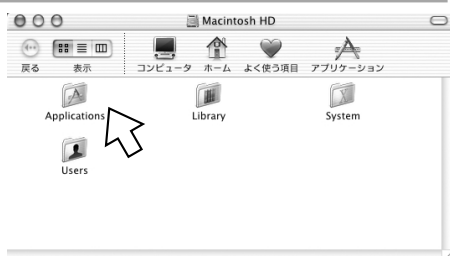
インターネットに接続する (Mac OS X)

インターネットサービスプロバイダのアクセスポイントにダイヤルします。

- 1 [Macintosh HD] アイコンをダブルクリックする。



- 2 [Applications] フォルダをダブルクリックする。



- 3 [Internet Connect] アイコンをダブルクリックする。



ワンポイント

フリーウェアを使用してダイヤルアップ接続をする場合は Q&A (P76) を参照してください。



お知らせ

接続している間は、接続時間分の通信料金が発生します。

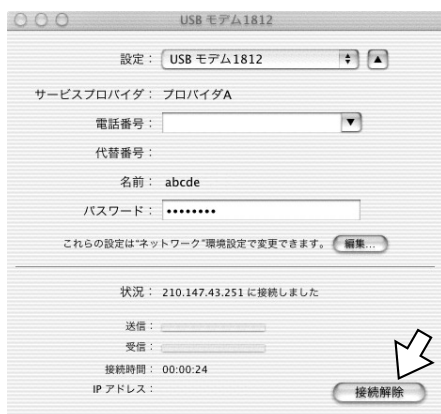
- 4 [設定]で「接続の設定をする」の手順3(←P69)で選択したポートを選択し、[電話番号][名前][パスワード]が入力されていることを確認して、[接続]をクリックする。



- 5 ブラウザなどのアプリケーションソフトを起動する。

操作は、アプリケーションソフトの取扱説明書などを参照してください。

- 6 終了するときには、[Internet Connect]の[接続解除]をクリックする。



お知らせ

回線を正常に切断できない場合には、INSメイトFT80btの切断ボタンを押して切断してください。それでも切断できない場合は、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜いて切断してください。回線が切断できた場合は、INSメイトFT80btの液晶ディスプレイのBチャンネル通信中表示が消えます。(←取扱説明書P26)

Mac OS X (10.1) 以降の場合、[Internet Connect]画面の[ステータス]に[0bpsでXXXXに接続しました]と表示されることがありますが、問題ありません。

インターネットにうまく接続できない ときのチェックポイント

インターネットにうまく接続できないときは

インターネットに接続できないときの、主なチェックポイントです。「故障かな?と思ったら」(取扱説明書)と合わせてご確認ください。

アクセスポイントの電話番号

電話回線用(モデム用)や非同期V.110のアクセスポイントでは通信できません。利用する通信モードのアクセスポイントに設定されているか確認してください。

また、MUX機能(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)をご利用になる場合は、設定ユーティリティでMUX発信アドレスを正しく設定し、かつ、発信先の番号を「90」に設定してください。

DNSサーバのIPアドレス

「DNS項目にありません」「このサーバーは見つかりません」などの通知が表示される場合は、DNSサーバのIPアドレスやドメイン名の設定が間違っていないか確認してください。

ユーザ名、パスワード

接続してすぐに切断されるような場合は、ユーザ名(ユーザID、PPPログイン名などと呼ばれることもあります)、パスワードが正しく設定されているか確認してください。大文字、小文字の違いを正しく設定しているか確認してください。

インターネットにつながらない

● USBポートをご利用の場合

USBドライバをインストールしていない場合はインストールしてください。(取扱説明書☞P47、55)

Mac OS Xの場合、設定スイッチ3をOFFにしてください。(取扱説明書☞P29、58)

● RS-232Cポートをご利用の場合

INSメイトFT80btとパソコンの通信速度が一致していないことが考えられますので、パソコンの通信速度の設定を確認してください。

● FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続している場合

・パスキーは登録しましたか。(取扱説明書☞P84)

・FT80btアダプタ接続ユーティリティが起動し、ワイヤレス接続可能な状態になっていますか。(取扱説明書☞P90)

Q&A

Q. 接続可能なインターネットサービスプロバイダの条件には何があげられますか。

A. 同期 (64 kbit/s) またはMP (128 kbit/s) のアクセスポイントを持つインターネットサービスプロバイダであれば接続可能です。非同期V.110のアクセスポイントには接続できません。

Q. フロー制御は何をサポートしていますか。

A. RS/CSによるハードフローをサポートしています。

Q. データ通信の接続手順は何ですか。

A. ATコマンドです。V.25bisなどには対応していません。

Q. データ通信のMP (PPP Multilink Protocol) には対応していますか。

A. 対応しています。MP方式のアクセスポイントを持つインターネットサービスプロバイダに接続するときは、B1、B2チャンネル2本を使用して128 kbit/sのデータ通信ができます。

Q. ターミナルソフトでATと入力したがOKが返ってこないのですが。

A. 次の点を確認してください。

- ATの次にリターンキーを押しましたか。
- aTやAtと入力していませんか。
- 漢字変換により全角文字になっていませんか。
- RS-232Cポートをご利用の場合
 - ・ RS-232Cケーブルは正しく接続されていますか。
 - ・ RS-232Cケーブルは付属品 (ストレートタイプ) で接続していますか。
- USBポートをご利用の場合
 - ・ USBケーブルは正しく接続されていますか。
 - ・ USBドライバをインストールしましたか。
 - ・ Mac OS Xをご利用の場合、設定スイッチ3はOFFになっていますか。(取扱説明書⇐P29、58)
- FT80btアダプタを利用してワイヤレス接続している場合
 - ・ パスキーは登録しましたか。(取扱説明書⇐P84)
 - ・ FT80btアダプタ接続ユーティリティが起動し、ワイヤレス接続可能な状態になっていますか。(取扱説明書⇐P90)

Q. ATコマンドによる設定は1コマンドずつしか記述できませんか。

A. ATコマンドは連続して記述できます。

Q. インターネット接続のための設定は。

A. 接続先のインターネットサービスプロバイダの指定に従った設定が必要です。一般的には、DNSサーバの設定、通信モード (同期64 kbit/sまたはMP128 kbit/s)、アクセスポイントの電話番号、ユーザ名およびパスワードの設定が必要です。

インターネットにうまく接続できない ときのチェックポイント

(前ページの続きです)

Q.DNSとは何ですか。

A.Domain Name Serviceの略で、数値（例えば111.11.11.2.3など）ではわかりにくい端末のアドレス体系を、人間にわかりやすい文字列（ドメインネーム：例えばced.nttca.comなど）で表現できるようにするものです。

Q.Windows[®] 98を利用していますが、インターネット接続が遅いのですが。

A.Windows[®] 98をご利用の場合は、次の点を確認してください。

- Windows[®] 98の「サーバーの種類」の設定画面で、[ネットワークへのログオン] がチェックしてある場合は、チェックを外し、[TCP/IP] のみチェックしてください。(☞P36)

Q.パソコンのOSをWindows[®] 98からWindows[®] 2000にアップグレードしたらインターネットに接続できなくなった。

A.Windows[®] 2000のプレリリース版を使用している場合は、Windows[®] 2000の正式版を使用してください。

- インターネット接続の設定で次の設定を確認してください。
 - ・[ネットワークとダイヤルアップ接続] 画面(☞P56)でツールバーの[詳細設定] をクリックし、「オペレータ経由のダイヤルアップ」がチェックしてある場合は、チェックを外してください。
 - ・[XXXXXのプロパティ] 画面(☞P54)で、[呼び出すダイヤルアップサーバーの種類] の右下の[設定] をクリックし、「単一リンク接続に対してマルチリンクをネゴシエートする」がチェックしてある場合は、チェックを外してください。

Q.FT80btアダプタ利用時、Outlook Expressでメールを送受信したとき、TCP/IPエラーが発生するのですが。

A.Outlook Expressで [ツール] - [オプション] - [接続] タブをクリックし、[送受信が終了したら切断する] のチェックを外してください。その場合、送受信が終了した後、回線を切断する操作を行ってください。

Q.RAS（リモートアクセスサーバ）接続でWindows[®]の共有サービスを利用していますが、相手サーバの共有ファイルにアクセスするとパソコンが応答しなくなったのですが。

A.ワイヤレス通信でWindows[®]の共有サービスをご利用の場合、相手サーバ上の共有ファイルをオープンにすると応答がなくなる場合があります。このような場合は、お使いのパソコンの適当なフォルダにファイルを一旦コピー（ドラッグ）してからご利用ください。

Macintoshをお使いの場合

Q. Macintoshで動作するターミナルソフトはありますか。

A. 市販のパソコン雑誌の付録やBBS、WWWなどによりフリーソフトを入手する必要があります。
例えば、Jterm、Terminal2.2J、aretermがあります。

Q. フリーウェアを使用してダイヤルアップしたいのですが。

A. フリーウェアを使用してダイヤルアップする場合は、[Modem init string] に以下の設定をしてください。

- 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、ATQ0V1\$N9=10
\$N11=0&DO。
- MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、ATQ0V1\$N9=10
\$N11=1&DO。
0は数字です。

MEMO


MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120 - 109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2002 NTEAST・NTTWEST



本2214-3(2002.6)